






No.1	タイトル・テーマ	目の見えない人のことを知ろう（視覚障害者体験）	共生・人権
	対象学年	1, 2年	
	実践報告	<p>【内容】</p> <p>①緑内障・白内障ゴーグルをつけて、字を読んだり色を当てたりしよう！（クイズ）</p> <p>②アイマスクをして、手でさわった物の名前を当てよう！（クイズ）</p> <p>③目の見えない人が使う白杖や盲導犬、点字ブロックについて知ろう！</p> <p>④まとめ</p> <p>【子どもの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑内障・白内障のマスクをしてみても、黄色のレモンがどこにあるか分からなくなったのでびっくりしました。そういう病気で苦しんでいる人がいるんだなあって思いました。 ・きれいな絵なのに色が全部茶色っぽく見えて怖かったです。 ・盲導犬にも会ってみたいと思いました。 ・アイマスクをつけていろいろな物を触った時に、はさみだと分かった時は怖かったです。目が見えない人やお年寄りの人は危ない目に逢いそうで心配です。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日として、保護者にも一緒に見たり考えたりしてもらった。 ・社会福祉協議会の方の方を外部講師として招いた。 	





No.2	タイトル・テーマ	「お年寄りになったら体験」をして考えよう（高齢者疑似体験）	共生・人権
	対象学年	3, 4年	
	実践報告	<p>【内容】</p> <p>①バリアフリーについてのお話を聞く。</p> <p>②お年寄りになる。（肘ベルト、膝ベルト、サングラス、イヤーマフ、手袋の装着／杖）</p> <p>③「お年寄りになったら体験」をする。 （階段を下りる→体育館への移動→新聞、本を読む →模型硬貨を箸でつかむ→階段を上って教室に戻る）</p> <p>④まとめ</p> <p>【子どもたちの様子】</p> <p>①「バリアフリー」という言葉を知っていたのは2, 3人だった。</p> <p>②経験したことがない状態になり「動かない！」「見えない！誰？誰？」と不安定になった。</p> <p>③足を踏み外す、すのこ板の隙間に杖が入るなどして苦労していた。</p> <p>③箸がうまく使えず、硬貨を数個お椀に移すだけでもだいぶ時間がかかった。</p> <p>③なかなか本の字が見えず、顔を近づけたりお家の方に助けってもらったりしながら読んでいた。</p> <p>【子どもの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店とかで高齢者の方が困っていたら声をかけてあげたい。 ・うちのおばあちゃんに何度も聞き返されることがあるけど、はっきり伝えてあげたい。 ・おばあちゃんに優しくしてあげたい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日として、保護者にも一緒に見たり考えたりしてもらった。 ・社会福祉協議会の方の方を外部講師として招いた。 	



No.3	タイトル・テーマ	ブラジルについて知ろう（講演・料理・文化）	共生・多文化、国際理解
	対象学年	5、6年	
実践報告	 	<p>【内容】</p> <p>①ブラジルから日本へ移住し、ブラジルからの移民の方と多くの活動をしたり、ブラジルのことを日本の学生に伝えたりする活動をしている方の講師を聞く。</p> <p>②ブラジルの言葉を知る。→BOA TARDE(こんにちは)、OBRIGADO(ありがとう)、VOU ME SERVIR(いただきます)など。</p> <p>③ブラジル料理「パステル」を作って食べ、この他に「にんじんケーキ」と「ガラナジュース」をいただく。</p> <p>④ブラジルの漫画や色鉛筆をいただく。</p> <p>【子どもの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルで一番人気のパステルを教えてもらって、思ったよりも早くできました。日本人が餃子を間違えて作ったのにそれがパステルという名前の食べ物になったのは面白いと思いました。見た目はカリカリだけど、食べてみたら少しふわふわしていたし、ソースをかけてもおいしかったです。ケーキはにんじんを使っていることにびっくりしました。ブラジルの挨拶や言葉も覚えることができてよかったです。 ・今回はブラジルのことについて学びました。初めて食べる料理だったのでとてもわくわくしていました。食べてみると日本の料理とはやっぱり違う味がしたけどすごくおいしかったです。 ・パステルは日本人が餃子と間違えて作ってできたということが驚きました。パステルは色々かけたり入れたりして食べました。ガラナという言葉は初めて聞きましたが、アマゾンから来ているということが分かりました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日として、保護者にも一緒に見たり考えたりしてもらった。 ・社会福祉協議会の方を外部講師として招いた。 	

No. 4 ①	タイトル・テーマ	おいでよ 上小！（学校だより） 参観日の報告	共生・人権
	対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6年 保護者 学校だより	
実践報告	  	<p>【内容】</p> <p>①学校だよりで、「授業参観、地域・PTA 講演会・給食説明会」について知らせる。</p> <p>【今回は、社会福祉協議会の【1・2年生】は見えないってどんな感じ？ということで、目ではものを見ていない人たちの見方を体験してみました。【3・4年生】年を重ねると体はどんな感じ？ということで、おじいちゃん・おばあちゃんたちの見え方、体の変化を体験してみました。【5・6年生】他の国のことを教えてもらおう！ということで、ブラジルの方にブラジル文化を教えてもらいました。そして、地域・PTA 講演会では「自分らしく生きる～ふつうって何だろう？～ということを中心に、LGBTQということを通し、自分が自分らしく生きることが大変だった幼少期からの話から今でも困ること、「自分らしく生きる」ということを大切にしていることのお話を外部講師の方からお聞きしました。</p> <p>自分と相手は違うのが当然で、その違いをわかることは難しくても、わかろうと努力し、それぞれの生き方、考え方を尊重し合える世の中を作っていきたいし、作っていかなくてはいけない、そんな世界をお子さんたちに残していくのは私たち大人の役目だと感じました。様々な方々との出会いを大切にし、様々な人たちの思いを知り、自分としては何ができるのかということをお子さんたちと共にこれからも大切にしていこうとすることを大事にしています】</p> <p>【講演を聞いた保護者の感想より】 一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～大変貴重なお話をお聞きし、多くのことに気づかせていただきました。講演会の日の夜、息子は「おれがもし、〇さんと同じ年代にうまれてたら、〇さんをいじめた人たちを絶対にゆるさない。」と言いました。わたしは、息子の言葉を聞いて、思わず言葉に詰まり 	

	<p>ました。差別や偏見をもっているのは、私たち大人ですよ。○さんのメッセージは、未来を担う子どもたちの心へまっすぐ響いています。私自身も子ども時代に苦しいことがあり、涙がこみあげてきました。～</p> <p>【子どもの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女かんげいない世かいいになってほしい。たしかにLGBTQの人は、温せんが大へんだと思う。わたしは女の子だけど、女で男になりたい人もいるし、男で女になりたい人もいるんだなと思った。その人から言わないうちに、「LGBTQなの？」と聞くのはよくないと思った。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・PTA講演会として、地域、保護者、児童と共に学び考える機会をつくった。 ・LGBTQのこと、自分らしく生きるという事に関わっての話をしてくださるお二人を、外部講師として招いた。
--	---

No. 4 ②	タイトル・テーマ	いろいろな人がいることを知ろう（LGBTQに関わっての講演／絵本）	共生・人権
	対象学年	1, 2年	
<p>実践報告</p>  	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LGBTQに関わってのお話を聞いて、感じたことを出し合う。 ②絵本「わたしはあかねこ」の読み聞かせを聞く。 ③あかねこさんの気持ちについて話し合い、多様性について考えを深める。 <p>【子どもの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対白か黒じゃなきゃいけないと決めつけられて、あかねこさんは苦しかったと思います。あかねこさんは赤だから、その赤をみんなからも大切にしてほしいと思いました。 ・あかねこさんに「きれいだね」って言われてうれしかったと思います。あかねこさんに「幸せになってね」って言いたいです。 ・カラフルな家族はみんなちがっていいなあって思いました。 ・自分で好きな毛の色を決められたらいいのになって思いました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日として、保護者にも一緒に見たり考えたりしてもらった。 ・LGBTQのこと、自分らしく生きるという事に関わっての話をしてくださるお二人を、外部講師として招いた。 		